

町長日誌 No.217



町長日誌の第 217 号です。町長が日頃町民の皆さんと話し合ったことや色々な出来事を町長自ら書いたものです。町民皆さんのご意見・ご要望・ご感想をお待ちしています。

11月21日 (日曜日) AM11:15

強い霜がおりるものの、なかなか雪景色にはならないですね。先ほどまで興部保育所のお遊戯会に出席していました。1歳児、2歳児では幕が開くと固まってしまうピクリとも動かないで音楽が終わってしまった子もいます。さすがに5歳児は素晴らしいダンスを披露してくれました。コロナ禍のなか、先生方の子どもたちへの気遣いは並々ならぬものがありました。ご家族も同様であったと思います。その甲斐あって未だ一人の感染者も出さないでいることは町の誇りであると思います。一方、今月8日から受付が始まりましたインフルエンザワクチンの予約受付では初日に700件を超える電話が殺到し受付できない方も多かったことと思います。3日間で予定数に達してしまい本当に申し訳なく思っております。国保病院でのワクチン接種は水・木曜日がインフルエンザの接種で、金曜日はコロナワクチンの初回(1・2回目)接種日となっています。3回目のコロナワクチン接種は2回目接種から8ヶ月後となります。当町では医療従事者が今年5月26日に2回接種を終えていますので、3回目は来年1月26日以降となります。現在、接種券配布の準備をしていますので、時期が来ましたらご連絡させていただきます。ご協力を宜しくお願い致します。



残念なお知らせです。

本日、朝10時ごろ国道を沙留から紋別に向かう途中の富丘入口地点で観光バスと乗用車の衝突事故が発生し、乗用車を運転していた87歳の男性が意識不明で国保病院に救急搬送したのですが途中で心肺停止となり病院で蘇生処置をしたものの11時13分にお亡くなりになりました。心からご冥福をお祈り申し上げます。

この事により、これまで続いていました死亡事故ゼロの記録は5211日でストップしました。最近、高齢者の事故が全国的に目立ちます。広い北海道では高齢者にとって車は重要な交通手段です。しかし、死亡事故は残された家族や被害を受けた側にも大きな傷跡を残します。この時期は特に道路も滑りやすくなります。この度の死亡事故を決して他人事と思わず、我が事として注意していただき、安全運転をお願いします。

今月は、コロナの規制も解除されたことから東京出張が多く先週14日から一週間、各省庁を巡ってまいりました。余剰が心配な生乳の対策、ゼロカーボン、治水事業、そして私たち自治体にとって貴重な財源となる「過疎対策事業」などの来年度予算要望です。今週も24日から29日まで札幌・東京で、医療対策、道路事業、高校存続などの要望や会議があり町を留守にします。本当に久しぶりに長期出張が続き、東京などとの気温差には悩まされますが頑張りたいと思います。

さて、灯油・ガソリンの高値が続いています。食品などの値上げも続きます。町は緊急の経済対策や福祉灯油などの対策を12月中に実施したいと考えています。少しでも楽しい年末になるお手伝いが出来ればと願っています。本当に寒くなってまいりました。うがい、手洗い、マスクでお元気に過ごしてください。では、また。

お便りをいただく場合は、適当な便箋等を封筒など(使い古しのもので構いません)に入れ、封をして、役場窓口か、お知り合いの町職員にお渡し願います。町長のみ開封とし、お返事をさせていただきます。不明な点は、総務課総務厚生係まで。TEL 82・2131です。

